

地域再生計画評価調書

計画の名称	芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト		事業の名称	芹ヶ谷公園芸術の杜プロジェクト		
事業概要 (計画の事業概要から一部抜粋)	本事業は、町田市の中心市街地から徒歩で行くことのできる芹ヶ谷公園を“芸術の杜”をテーマに再整備することで、観光業の振興を図るとともに中心市街地の活性化につなげようとするものである。具体的な施策として、芹ヶ谷公園を美術館ゾーン、アートイベントゾーン、わき水と花の明るいゾーン、さわやかみどりゾーンに分けて公園全体を再整備し、公園の魅力向上を図る。 他にも、芹ヶ谷公園内には、自然の中で子どもたちが思いきり遊ぶことができる「冒険遊び場」といった既存の施設があり、こうした既存施設とこれから整備する新しい施設等との連携を図る。以上のような整備を行うことで、芹ヶ谷公園全体の集客力向上につなげていく。					
重要業績評価指標（KPI）			現状値 (計画開始時点)	実績値 (2023年度)	目標値 (2024年度)	備考
●芹ヶ谷公園の年間観光入込客数（人）			514,753	823,512	530,000	
●市内で文化芸術にふれる機会を持つことができた市民の割合（％）			25%	12%	36%	
取組結果	・ハード面では、（仮称）町田市立国際工芸美術館整備工事について、2度の入札中止を経て、プロポーザル方式を採用したが、2023年10月、参加者から期限までに技術提案書が提出されずプロポーザルは中止となりました。そのため、（仮称）国際工芸美術館の開館予定を2027年9月に変更し、公園の第2期整備についても、実施設計・整備工事のスケジュールを変更しました。プロポーザル中止を受け、2023年12月、設計図書を客観的な視点で検証し、工事費や工期、工法等が適切かどうかを評価・見直しをするCM（コンストラクションマネジメント）を導入しました。 ・ソフト面では、“パークミュージアムの将来の姿をみんなで想像・創造し、体験するイベント「Future Park Lab」を定期的に開催し、賑わいを創出しました。具体的には、ランタンに絵を描きライトアップする「ランタンで公園に明かりを灯そう！」や、公園の葉やどんぐり等を用いて行う「"みどりのおとしもの"で工作しよう！」「染め物ワークショップ」といった、文化芸術を楽しく身近に感じられる空間づくりを進めたことで、目標を大幅に上回る年間観光入込客数となりました。			外部評価	・様々な人がプロジェクトに参加し、賑わいを創出することを目的とした多くのイベント等を実施して、成果を上げていることは評価できる。市内に大学が多い利点を活かし、パークミュージアムのイベント時に学生の発表の場を設けるなど、学生が活躍できる機会をさらに創出することを検討し、ゆくゆくは産学官連携へと発展させていけるとよい。 ・町田駅からも近い場所にあり、観光の振興に大きく貢献できる事業であることから、市民が市外の人に薦めたい場所として芹ヶ谷公園が挙がることを期待している。 ・中心市街地である町田駅から芹ヶ谷公園まで、どのように人を動かすかを考える必要がある。町田駅から芹ヶ谷公園までの歩く道のりそのものが観光の目的となるような街の整備・仕掛けづくりも是非検討してほしい。 ・町田駅周辺の再開発と合わせたまちづくりを行うことで、中心市街地の回遊性を高め、エリア全体の活性化につなげてほしい。	
2023年度 寄附件数	5件	2023年度 寄附額	4,423,977円			